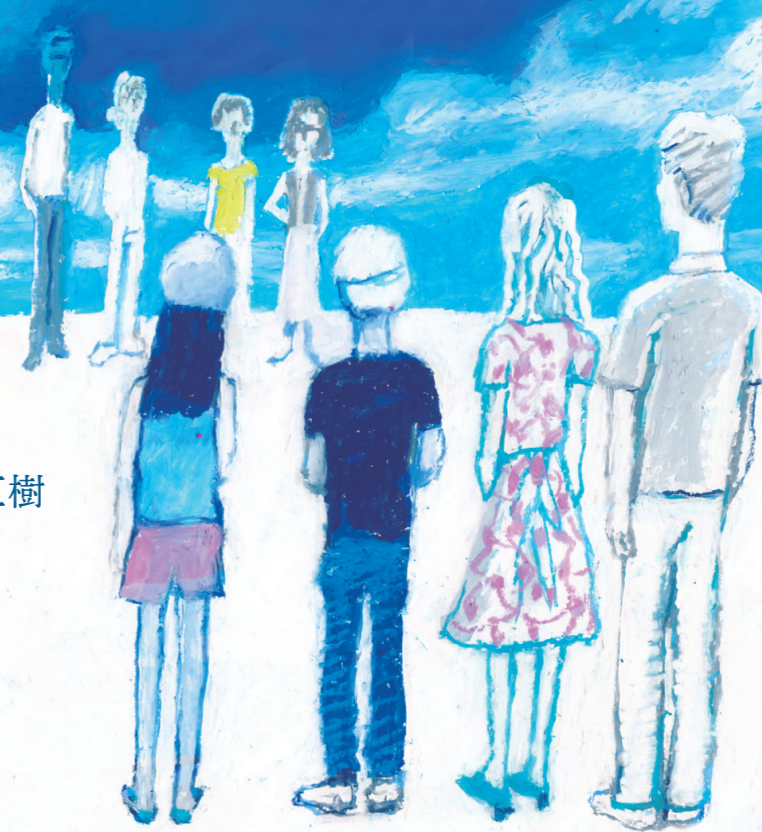


# ある 晴れた 夏の 朝

ぼくたちにとって「原爆」とはなんだったのか？

原作：小手鞠 るい  
「ある晴れた夏の朝」(偕成社刊)

脚本・演出：北村 直樹  
(人形芝居ひつじのカンパニー)



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地  
**TEL.052-772-1882**  
FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。



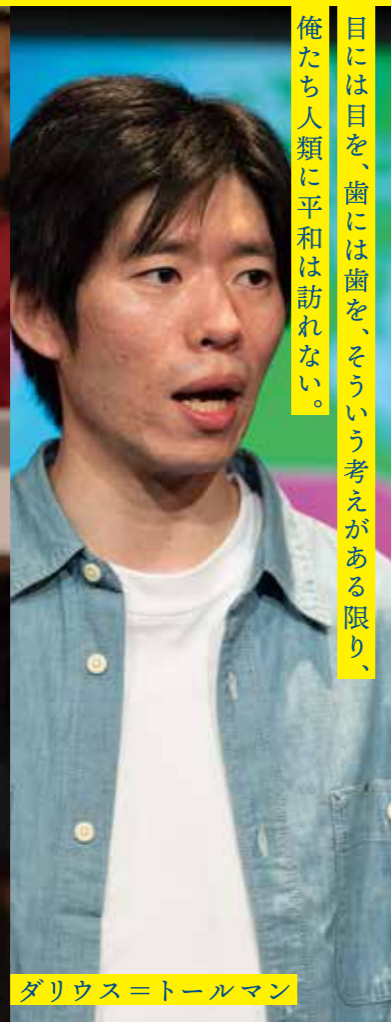
美術：乗峯雅寛／照明：若狭慶大／音楽・音響：内田アダチ／音響操作：白濱博／衣装：木場絵理香  
宣伝美術：伊藤祐基／イラスト：タムラフキコ／写真：服部義安／映像：山内崇裕／写真出典元：Wikipedia・時事通信フォト





私達は原爆投下を認めません。あれは絶対に間違っていた。

メイ＝ササキ＝ブライアン



俺たちは人類に平和は訪れない。

ダリウス＝トールマン



目には目を、歯には歯を、そういう考えがある限り、俺たち人類に平和は訪れない。

スコット＝バーグ



原爆投下は最初から決まっていたんです。その理由と目的は3つ。

ジャスミン＝リロ



原爆投下の根底に、人種差別があったんじゃないかと。

エミリー＝ワン



日本は原爆の被害者づらをするのをやめて欲しい。

「リメンバー・パールハーバー」  
この言葉をボクは決して忘れない。

ケン＝カワモト



日本は、ナチス・ドイツの同盟国ですよ！

ナオミ＝コーエン



原爆は「悪」ではなくて「必要悪」なんです。

ノーマン＝ブライアン

# 平和の本質に迫る、

# 白熱の4ラウンド！

## story

アメリカに住む日系アメリカ人のメイは、サマースクールの一環として行われる「公開ディベート」に参加することに。

テーマは「原爆の是非」。8月の毎週土曜日、人種の違う8人の高校生が肯定派・否定派に分かれてディベートする。各チームで原爆投下の背景を調べ上げ勝負に挑んだ彼らだが、討論を深めるにつれ、複雑に絡み合った歴史的事実を思い知る。真実か嘘か、加害者か被害者か、人種差別、偏見、日本人が犯した過ち...etc。

戦争の裏側と平和の本質に迫り、迎えた最終ラウンド。果たして、ディベートの終着点は...？

原作

## 「ある晴れた夏の朝」

(小手鞠い / 偕成社刊)

- ◎第68回小学館児童出版文化賞受賞
- ◎第65回青少年読書感想文全国コンクール中学の部課題図書
- ◎世界優良図書リスト『ホワイト・レイブンズ』2019年版に選出



日本の子ども達と話をしてみたいです。平和について、原爆について。



## message

この作品の見どころは、是非を問うディベートでありながら、是非よりも、勝敗よりも、大切な事があると気づき始める8人のドラマ、そしてディベート大会の会場という設定による、その場に観客として自分も参加しているような臨場感です。

皆さんは、8人の登場人物たちと共に「知らなかった側面を「知る」体験、主体的に「考える」体験、自分の意見を「持つ」体験をするでしょう。今、改めて社会に投げかけられている平和問題。この観劇体験が、皆さん自身の中に平和を育て、未来を変える力に繋がることを私達は願っています。[劇団うりんこ]

